

F-23 Thermo Spot SensorのME機器としての応用  
東和大学 ○平野秀樹 池之上明造 江崎敏明 里山洋男 植木寛

健康状態と体表温度とは密接な関係ももっている。我々はサーモ・スポット・センサーで体表温度を測定することにより、これらの相関性も明らかにした。

そこで、本研究では本学学生の基本体力と体表温度の相関性、それに一般農村生活者の健康管理相談を行なった。測定はThermo Spot Sensor、非観血式血圧計、フクダのchannel心電計、フクダ無水式呼吸機能計を用い、体表温度と血圧、心電図、肺機能のデータを得た。これに、大学生は基本体力、農村生活者は生化学検査（尿検査）などの測定とし、健康状態についての検討も行なった。

その結果、体表温度と基本体力にっつては体幹温度の“バラツキ”と、その調査により平均運動量不足を証明することが可能であり、また農村生活者の健康管理については、体表温度の測定による部位温度の値を知ることが重要な情報を見知することのできることを確信した。今後はこの体表温度測定の研究を進め、人体各部との相関性の検討を深めることにより、健康管理及び予防医学への重要な情報を提供することができると考えられる。